

Murofessional 2nd ~勇気~

(むろふえっしょなる セカンド)

vol. 6

R 3.9.1 文責：村田典子

夢
を持ち
を育み
を叶える

～大津町学校教育ビジョン基本理念～

前期後半に がんばって欲しいこと

この時期は、運動会や見学旅行等、集団として動く機会が増えます。コロナ禍の中ではありますが、互いにかかわる中で、学級を、いっしょに目標に向かって頑張る「チーム」に育てて欲しいと話しました。

学級を すてきな“チーム”に育てよう		
がっさゆうもくひょう ね 学級目標 に向かって みんなで 力を あわせる 心を あわせる		
こま 困っている	ともだち 友達を	めっだ お手伝い
ともだち 友達の	しっばい 失敗に	やさ 優しい
		げんき 元気な あいさつ

この夏は、何といてもオリンピック・パラピック。私たちにたくさんの感動を与えてくれています。私個人が印象に残ったのは、開会式のブルーインパルスの飛行の姿。

きれいに並んだ隊列は、飛行訓練のたまもの。そして、パイロットたちが、素晴らしい大会にするために、目標を同じくして心を合わせた姿だと思います。このチームワークが形になって表れていることの素晴らしさ。打合せや飛行訓練もかなりのものだったのではと察します。

チームとは、ある目的のために協力して行動する集団のことです。制限のある中の教育活動ですが、学級が素敵なチームに育つ事を願います。

夏休み明けて・・・前期後半のスタート

8月26日、出勤途中に登校班で一列になって歩く子供たちの姿が目に入りました。手提げ袋やタブレットケース等、多めの荷物を持ち、マスクをしてうつむき加減で登校する姿に、ああいよいよ始まったなあ実感しました。

昨年度に比べると長めの夏休みでした。とはいえ、この期間もコロナ禍の中の活動制限、長く降り続く大雨などで、レジャーで楽しむことなどはできず、我慢を強いられたことも多かったのではと察します。けれども、水の事故や交通事故などの報告もなく、命を守って皆元気で過ごせたことに安心しています。

子供の感染が増え、学校での感染を危惧する報道もあります。確かに学校とは、そもそもが集団生活でありますし、学校の実情など、不安要素は否めません。この事態を受け、本校でも消毒グッズや空気清浄機等、新たに購入しました。教室では、換気や消毒の徹底は勿論、クレベリンを置き、サーキュレーターも稼働させています。これまで以上に感染予防対策を行いながら、教育活動を進めてまいります。引き続きご理解とご協力のほどをお願いいたします。

運動会について

先週27日(金)に、お便りとバスキャッチで既にお知らせしたところですが、決定の経緯について知りたいというご意見もありましたので、少し説明をいたします。

26日(木)、臨時で運動会実行委員会を開き、子供たちの意見を聞きました。

爆発的感染と言われる厳しい状況、本県は「蔓延防止措置」下の中、5月から延長した運動会をどうするのか、現状や国や県の方針等も踏まえながら、正解ではなく、「納得解」を求めようと、意見を出し合いました。(実行委員会の様子は本校HPでも紹介)

子供たちからは、「延期してやろうと思っていた時期にまた広がっていたら繰り返になってしまう」、「延期にしてしまうと修学旅行にかぶっちゃう」、「無観客やいろいろな感染対策をしたらいいと思う」など、延期のデメリットや、感染予防対策、プログラムの縮小等々、様々な意見が出ました。が、中止や延期ではなく、運動会を開催したいという思いは同じでした。

県の通知(8月24日付け)では、「教育活動上の留意事項について」として“体育大会・運動会を実施する場合は、半日開催や無観客開催、児童生徒が密集する活動、近距離で組み合ったり、接触したりする活動を控えたプログラム設定を検討するなどの感染症対策に万全を期すこと。”と示されています。

その夜のPTA役員会にて、実行委員会の子供たちの意見を参考に、安心・安全で子供の育ちのある運動会の開催ということで

- 9月18日の開催
- 無観客
- プログラムの縮小

で実施することとしました。

「感染が不安なので中止した方がいいのでは」というお考え、また「運動会での我が子の姿を学校で見たい」という思いもうかがっています。皆さんのお考えの振幅がとても大きく、着地点が難しい判断でした。有観客では感染リスクがとても大きくなるので、無観客としました。町内の全ての小学校が無観客です。

皆さんがとても楽しみにしておられたお子さんの姿を直接参観する場を設けられず、大変申し訳なく思います。どうぞご理解のほどをお願いいたします。



